



(4,000円)

特許庁長官

昭和53年7月29日

熊谷善二殿

1. 考案の名称

ヨウ
ロツク用の二重ナット

2.

3. 考案者

住所

実用新案登録出願人と同人

氏名

4. 実用新案登録出願人

住所

東京都国立市中2-17-9

氏名

カジ
桜
山
マ
サ
ト
シ

5. 代理人

住所 160 東京都新宿区西新宿4丁目11番9号

氏名 5615 弁理士 奥田作太郎

電話 (377) 3384 ~ 5

6. 添付書類の目録

(1) 明細書

1通

(2) 図面

1通

(3) 願書副本

1通

(4) 委任状

1通



53 104462

明 細 書

1. 考案の名称 ロック用の二重ナット

2. 実用新案登録請求の範囲

一方側に平面部を残して先端の径が小さくなる任意角度で円錐形を有す突出部を設けてナットと突出部を貫通する螺子4を開設し、突出部の外周に外螺子5と突出部の軸方向に一個以上の割溝6とを設けた締付ナットと、突出部の高さと略しい厚さを有し突出部の円錐角度と略等しい角度で突出部の径より稍小さめの螺子穴8を開設した戻り止ナットとから成るロック用の二重ナット。

3. 考案の詳細な説明

本案はロック用の二重ナットに係り、ナットの戻りを防止することを目的とする考案である。

ナットの戻りを防止する方法として同形の二重ナットで締付けたり、ナットとポートとの外側にロックペイントを塗装したり或はポートの螺子を潰してナットの戻りを防止する方法が用いられている。然るに二重ナットを用いたり或はロックペイントを用いた場合でもナットに弛みが生じ、そ

H-20776

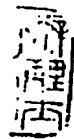
解説

のため鉄塔等にありては一年の一回程度ナットの点検及び締め付が行われて居る。ポートの螺子を渋すことはナットの戻りは防止されるがポートの取付取外と言うポート本来の効用性が減却される等の欠点が有り賢明の策とは謂い難い。本案は前記により締付ナットの一方側に先端部の径が小さく任意角度で傾斜する円錐形の突出部を設けて、締付ナットと突出部とを貫通する螺子穴を開設し、突出部の外周に外螺子を刻設すると共に軸方向に一個以上の割溝を形成し、突出部と等しい円錐角で且つ突出部より稍小さめに開設した螺子穴を有する戻り止ナットで締付ナットの突出部を緊締するようにして突出部の内螺子をポートの螺子に強く喰い込ましめ締付ナットの戻りを防止したものである。

本案の実施例を図面によつて詳述すると、1は締付ナットでありその一方側に平面部2を残して先端の径が小さくなるように任意角度で傾斜する円錐形の突出部3を突出し、ナット1と突出部3とを貫通する螺子穴4を開設すると共に突出部の

外周に外螺子 5 を刻設し、突出部 3 の軸方向に平面部 2 に達する一個以上の割溝 6 を形成して締付ナットとする。7 は肉厚 T が締付ナットの突出部の高さと略等しい厚さを有する戻り止ナットであり、締付ナットの突出部 3 の傾斜角度と略等しい角度で突出部の径より稍小さめの螺子穴 8 を開孔して戻り止ナットとし、戻り止ナット 7 と締付ナット 1 とを一組としてロック用の二重ナットとする。

上記の如く製造したロック用二重ナットを使用する場合は第 4 図に示す如く被締付体 A、B に貫通したポート C に締付ナット 1 の突出部 3 側を外側にして螺合し、充分に締付けた状態で突出部 3 に戻り止ナット 7 を螺合して締付けると戻り止ナットの螺子穴 8 の径が突出部 3 の径より稍々小さめに開設したため戻り止ナット 7 の締付に従つて突出部 3 に締圧が掛り、突出部は割溝 6 の範囲で狭縮して突出部内の螺子穴 4 の螺子山がポート C の螺子山 D に強く喰い込みポートと締付ナットの螺合を強固にすると同時に、戻り止ナットで締付



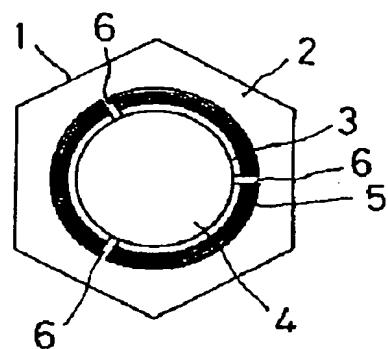
けられた突出部 3 が外側に開こうとする反発力によつて戻り止ナットが突出部と強固に螺合するので戻り止ナットが弛むことなく、突出部がボートと強く噛合う力と外側に開こうとする反発力と戻り止ナットが強く締め付ける力との総合作用によつてロック効果を強固ならしめる効果が有る。

4. 図面の簡単な説明

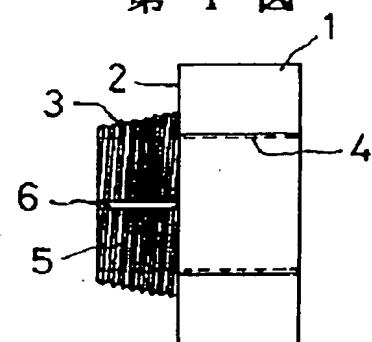
第1図は締付ナットとの側面図、第2図は突出部側から見た締付ナットの平面図、第3図は戻り止ナットの側面図、第4図はロック用二重ナットの使用状態を示す縦断面図である。

1: 締付ナット	A: 被締付体
2: 平面部	B: "
3: 突出部	C: ボート
4: 螺子穴	D: 螺子山
5: 外螺子	E: 肉厚
6: 割溝	
7: 戻り止ナット	
8: 螺子穴	

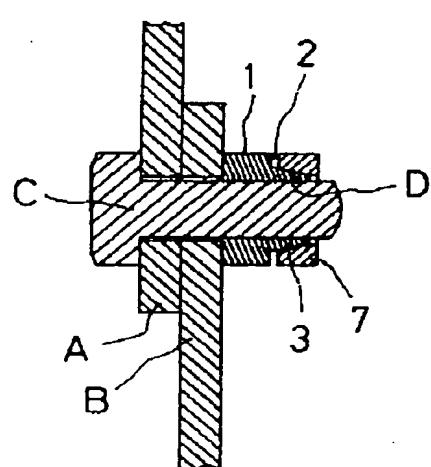
第2図



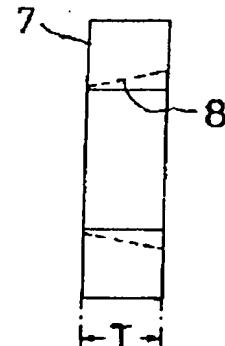
第1図



第4図



第3図



実用新案登録出願人

下尾山 朝二

代理人弁理士

奥田 作太郎

20776